

# 看護部通信

2013. 10. 1発行 第39号

#IOSPY ホスピーグループ腎透析事業部

## 穿刺とストレス「穿刺の達人に聞く！こんな時どうした？」

穿刺は看護師にとってプレッシャーになり、ストレスフルな出来事です。自薦・他薦で穿刺の達人を選出し、コメンテーターとして質問に答えてもらいました。

《達人コメンテーター》

A: 金山クリニック: 竹之内美幸

B: 十全クリニック: 西内節子 C: 東海知多クリニック: 上平晶子

D: 新生会第一病院・血液浄化センター: 渡邊累子

**A達人:**「プレッシャーかけないで」と言い、シャント全体の状態を見て、血管の走行、深さ、弾力、太さを触れて確かめ、どこにどのよう

**Q1: 患者から「うまく刺せよ！」とプレッシャーをかけられた時**

**B達人:**プレッシャーをかけられた時、患者とは緊張した雰囲気になりがちなので、あえて会話をしながら患者の気を紛らわせる感じで柔らかい雰囲気をつくり、力を抜き、

**C達人:**「頑張ります。」等、自分自身が努力している事を言葉にする。状況にもよるが、対応困難な場合は、他のスタッフに交代してもらっても良いと思う。

**D達人:**プレッシャーと考えるか、何回も刺されるより1回で済ませて欲しいと願うのは当たり前と、捉えるかは受け手(穿刺者)の考え次第。プレッシャーは相手(患者)からでなく、自分がかけていることもある。プレッシャーを解く鍵だと思う。

**A達人:**その部位を観察、シャントの状態を確認して穿刺が無理と思ったら、その事を説明し他の確実な場所に穿刺する事に同意を得る。他の看護師と交替する場合もある。

**Q2: 患者に苦手な穿刺部位を指定された時**

**B達人:**苦手な穿刺部位と思うと緊張して、穿刺するタイミングをのがしてしまうので、意識せず集中し自信をもって穿刺してみる。苦手と思わず、一度刺してみると自信に繋がるので、チャレンジする気持ちをもってトライしてみるのも上達に近づくのでは。

**C達人:**素直に自信がない事を伝え、穿刺部位を患者と相談する。どうしても指定した部位に穿刺を希望される場合は、他のスタッフに交代する事も必要である。

**D達人:**穿刺部位が他にあるなら患者に穿刺部位を変更してよいか聞く。しかし、どうしても自分の苦手な部位を指定した場合は、無理をせず他のスタッフに代わってもらう。苦手なのに無理をしても良い結果は生まれない。

**A達人:**「痛いね」「頑張って」「もう少し」等声かけをしながらひるまな

**Q3: 穿刺時患者に「痛い、痛い」と大きな声で言われた時**

**B達人:**患者の痛みに関心する。「痛くさせてごめんなさい」という気持ちをつたえる。また、針の挿入部を引いてみたり、角度を変えて、針の下にガーゼを入れたり痛みが軽減しないか声を掛けながら確認する。

**C達人:**痛みの感じ方は人それぞれだが、痛いと感じたことは事実である。『痛かったですよね。ごめんなさい。』と言いつけをせず、誠意を持って素直に謝る。

**D達人:**大声を出されたら誰しもたじろぐが、「痛くしてごめんなさいね」と表現し(共感)、「どこが痛いですか?」とすぐに対応することが大切である。大声でなく「痛い」という事実を耳を傾け、痛みの原因となっているもの(穿刺部位・針先固定・腫れや血流不全など)を早く取り除く作業が何より必要である。

# 透析中の防災訓練を実施して《地震・停電》

【金山クリニック防災委員会：長谷川真奈 坂口千賀 梅本雅美】

金山クリニックでは、毎年春に患者と職員を対象とした防災訓練を行っています。これまでは、防災訓練は朝透析と夜透析の間の時間帯で行っていましたが、患者の高齢化や透析時間外の訓練のため参加される患者が減少しており、毎年限られた患者の参加となっていました。そこで今回は、防災意識の向上と地震発生時の初期行動が理解できることを目的とし、患者全員が参加できるように考慮し、実際の透析中に防災訓練を実施しました。

## 防災訓練の実際

5月27日(月)・28日(火)の2日間で、透析開始1時間目に15分～20分程度で行いました。今回の訓練は透析中に震度5の地震が起きたと想定して、朝クールでは全館放送、中・夜クールではフロア毎でマイクを使用して一斉に訓練を行いました。地震が発生した旨がアナウンスで流れると、各フロアの看護師は、ヘルメットをかぶり自分の身を守ります。それと同時に、患者に回路をしっかりと握ってもらうこと、布団をかぶってもらい上から落ちてくる物から身を守ってもらうよう指示をし、実際に患者に実施してもらいました。また、フロアの電気を消しカーテンを閉めて、停電になったと仮定してバッテリー運転に切り替えました。

## 訓練後のアンケート結果

訓練後のアンケートでは患者の95%、職員の100%が「理解できた」、「ほぼ理解できた」と回答されました。また、内容についても、患者の87%、職員の97%が「満足できた」、「ほぼ満足できた」と回答されました。



患者

「地震発生時の初期行動がわかった」

「他にも自分の身を守るためにできることはないのかと思った」

「訓練に参加することで意識の向上につながった」

「離脱にどれだけ時間がかかるのか実際に行ってみて知りたい」



職員

「これまで参加していなかった患者に参加していただくことができ良かった」

「夜透析中に行うことで、夜間の停電時の暗さを知ることができて良かった」



回路を手に持って!!  
布団を被って!!



ヘルメットを被り  
自分の身を守る!!



停電です!!  
バッテリー運転に  
切り替えて!!

## 《委員会からのメッセージ》

今回透析中に実際に行う初めての訓練であり、全館放送に合わせて動けるのか、シナリオ通りにうまくいくのかなど不安は多くありましたが、行ってみただけで患者全員に参加し、体験していただくことができ、有意義な訓練となりました。



# “いのちのケア” 事例検討会

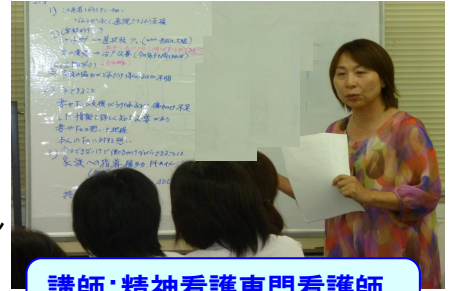
腎透析事業部看護部事務局 江崎 真知子

透析患者・家族は、身体的なダメージだけでなく、心理・精神的な問題を抱え、私たちは、病気や治療の知識・技術だけでは、患者の対応ができず、戸惑いや困難さを感じています。そこで、以下のように事例検討会を開催しています。

**目的:**リエゾンナースの指導や他のナースの経験知を活かした事例検討会を通して、透析患者や家族の心理・精神を理解しケアが出来る。

- 目標:**①事例を通して患者や家族の心理・精神を理解する。  
 ②患者や家族への心理・精神的ケアが実践できる。  
 ③リエゾンナースや他のナースの経験知から学ぶ。

現在まで、リエゾンナースである長江先生の指導の下、各施設において事例検討会を行っています。参加者からは長江先生の話は、「眼からうろこだ」「患者の問題ではなく、看護師の問題だった」など、多くの感想が寄せられています。リエゾンナースから、直接指導を受けられる機会は貴重です。新生会第一病院(\*)と透析クリニック併せて19回実施しています。是非この機会に参加し学びを深めましょう!



講師:精神看護専門看護師  
長江 美代子先生

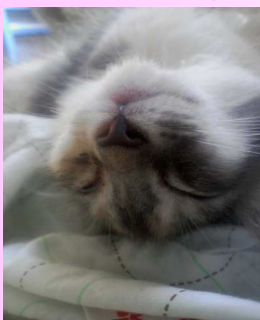
月 日	場所・部署	事例の内容・キーワード
7月8日	東海・東海知多クリニック	自己管理不良(離婚したい、死にたいと言う)患者
7月10日	鳴海クリニック	認知症患者の家族看護
7月16日	在宅透析教育センター*	家庭透析患者でクレマーと思われる患者
7月24日	金山クリニック	長期透析でセルフケア困難な患者
7月29日	外来・手術*	治療や日常生活意欲を喪失した事例
8月7日	十全クリニック	不安を抱える患者へのアプローチ
8月8日	血液浄化センター*	癌(転移)を告知された長期透析患者の看護
	3F病棟*	昼夜逆転がみられる治療、看護拒否の患者
9月3日	血液浄化センター*	長期透析による合併症でADLが低下してきた患者の看護
	2F病棟*	失語症でコミュニケーションの困難な自殺念慮のある患者
9月24日	平針記念クリニック	怒りが強く攻撃的な患者
10月1日	十全クリニック	幻視と自傷行為のある認知症の患者
	2F病棟*	失語症でコミュニケーションの困難な自殺念慮のある患者
10月9日	鳴海クリニック	暴言、暴力など問題行動をおこしていた患者
11月7日	金山クリニック	精神疾患による気分不安定で、週3日の透析ができない患者
11月20日	外来・手術*	セルフケアの継続ができない糖尿病腎症3Aの患者
	3F病棟*	認知症状のある透析導入患者の接し方
11月21日	東海・東海知多クリニック	自己管理不良(離婚したい、死にたいと言う)患者
11月29日	平針記念クリニック	大人の行動がとれない男性患者

※「リエゾン(liaison)」とは、橋渡しをする・連携する・つなげるという意味。精神看護の専門看護師をリエゾンナースという。精神科看護の知識や技術を持ち、障害や疾患をもつ患者とその家族に精神的ケアを行う看護師のことである。他診療科の看護師などと連携し、質の高い看護ケアを提供する役割を果たす。

## いのちのケア シリーズ6

【平針記念クリニック:都崎 緑】

いやしと元気の出るアイテムの紹介は、都崎さんのいやし時間、**愛猫とのふれあい**を紹介します。



私はチビタ(猫)  
 ご主人様は平針記念クリニックで働いている。  
 ご主人様は音楽が好き。  
 嫌なことがあると意味も分からない洋楽を聞いて騒いでいる。  
 時々大丈夫?と心配になる。  
 でもそんな時は私達の出番。  
 ご主人様をいろんなポーズで応援する。  
 いつの間にかご主人様が笑ってくれる。  
 とてうれしくなる。

